

「働く」ことを通して、一人ひとりの人生の幸せにつなげたい。

障がいのある人の企業への就労支援に携わる長岩透さん。異業種から福祉の世界に飛び込み、事業所を立ち上げるまでに至ったのには、ある想いがありました。

心を病んだ経験から見つけた 本当にやりたかったこと

企業で13年ほど人事をやった後、学習塾を経営していました。それが、福岡にある祖父の会社を残す話が出て、単身赴任に。これまでの人と関わる仕事と全く違うものづくりの会社で、いろいろあって心療内科に通うようになってしまった。死にたいくらい辛い

利用者さんの声



資格取得に向けて勉強中です。3か月や半年ごとに目標を設定して取り組むのが面白いです。まじめに取り組んでいる人が多いのでいい刺激になりますし、職員さんはいつも親身になってくれてなんでも話せる環境を整えてってくれています。

時期でした。退職してこちらに戻ったときに、知り合いが始めた就労移行支援事業所を見学したんです。自分も利用者さんたちと近い経験をして、人に教えることも好きだったので「これがやりたかったことかもしれない」と法人を立ち上げて「てんとうむし北本」を2014年に開所しました。

自分の考えを押し付けず、 一人ひとりを尊重する

主に、就労支援の出口担当として企業さんと利用者さんをマッチングしたり、面接に同行してフォローしたりしています。就職後も相談に乗って、企業さんに本人の想いを伝えることも。「桃栗3年福祉20年」で、今年やっと10年ですが毎日学ぶことがあります。初めのころは、利用者さんに「こうした方がいいよ」と言うことも多かったんですが、一人ひとり歩んできた道も考え方も違うので、まずは相手の話を聞く。その上で「こういう方法もある」とでも、最終的に決めるのは君だよ」と

言うように変わりましたね。

相手の人生を半分背負い 働くことで幸せに

私自身、心を病んでから今の仕事を始めて変わっていったように、彼らが就職して、仕事で評価されて自己肯定感が高まれば、寛解するかもしれない。収入を得て、家族を持ったりして：「働く」って幸せな人生を築く一つの手段なんですね。彼らの人生を半分背負うつもりで、時にはきついことも言います。そうして就職した人が5年後、6年後に「あの時、長岩さんに言ってもらったおかげで今があります」と言ってくれた時が一番嬉しいですね。

「フクシゴト」に興味がある人へ

大切なのは「福祉心」。ちょっとおせっかいで、小さなことにたくさん気付くこと。また、自分がどんな支援に関わりたいかを明確にして、いろんな事業所を見て決めると良いですね。

サービス管理責任者・就労定着支援員 長岩 透さん

障がいのある利用者さんと企業のマッチングを主に担当。一人ひとりの適性と企業のニーズを見極めながら就職に結びつける。また、事業所内で就職支援講座などを実施。スタッフが無理なく働ける体制づくりも大切にしている。

てんとうむし北本

就労移行支援事業所 自立訓練
■住所 北本 1-71TK ビル2階 ■住所 北本 1-102 2階
■電話 507-6571 ■電話 577-7552

就労移行支援事業所施設長

大川 佳美さん

利用者さん一人一人の支援計画や3か月、半年ごとの目標設定を行う。声掛けや面談などで話を聞き、温かく利用者さんを見守り支援する。



ホームヘルパー 相馬 洋子さん

訪問介護のほか、利用者さんの希望に合わせて利用頻度やヘルパー派遣の日程調整等を行い現場を動かす。また、北本を含む系列8事業所の管理状況を確認し、問題解決に取り組む。

けあビジョン北本

■住所 東間 1-68
■電話 593-1761



相馬さんが支援する様子を動画でご覧いただけます



訪問介護は、目の前の一人のための時間

「けあビジョン北本」で働く相馬洋子さん。障がい者入所施設勤務を経てホームヘルパー（訪問看護）の仕事と出会い、新たなやりがいを見つけたそうです。

高校生の頃、寝たきりの祖父を祖母が介護してあり、私も手伝っていました。部活の遠征中に祖父が亡くなりショックを受けましたが、その経験から福祉に興味を持ち、進学して障がい者施設へ実習に。利用者さんに関わる時間が楽しく、そのまま施設に就職しました。忙しさの中で「もっと一人ひとりと関わりたい」と思っているときに訪問介護の仕事を知り、一度挑戦してみることに。

訪問介護で感動したのは、30分や1時間の時間が利用者さんのために

利用者さんと楽しさを 見つけるのがこの仕事の魅力。

利用者さんと夢を共有する

仕事を楽しむコツは、利用者さんと

しっかり使えること。例えば、おむつ交換が予定より早く終わると「時間があるのでお手伝いできますよ」と声をかけることができるんです。訪問先では、家事援助や身体介助、移動支援、外出同行を行います。冷蔵庫にある食材で食事を作ったり、「明日はごみの日ですね」と分別を手伝ったりします。

この仕事で大切なのは、声かけ。利用者さんの表情が浮かないと「痛みはないですか？」と尋ね、介助の際も「ベッドを上げますね」「体を触りますよ」と細かく伝えたと安心してもらえます。訪問介護には初任者研修の資格が必要ですが、うちの事業所では資格取得までの2か月間、事務として働くことも可能です。週1回1時間から勤務でき、学生は授業前の30分や長期休みに多めに入ることも。私もパートから始めて、子どもが成長してから正社員になりました。

利用者さんの声

1日4回ホームヘルパーさんの支援を受けています。事故で身体が不自由になった当初は不安でいっぱいでしたが、ヘルパーの皆さんが「大丈夫よ」と力強く励ましてくれたので、とても心が癒されました。相馬さんは経験豊富で、「これやってほしいな」ということによく気付いてくれますね。



▲一緒にうどん作りを楽しむ様子

一緒に楽しみを見つけること。「机をきれいにする」といった小さなことから、車いすの方の「飛行機に乗りたい」という夢を共有し、方法を一緒に調べるのも素敵。そうして新しいことを見つけるのがこの仕事の魅力です。

「フクシゴト」に興味がある人へ

いい意味で誰でもできる仕事。相手を大事に思えば、相手もこちらを大事にしてくれます。「こうしたい」を共有すると素晴らしい関係が築けますよ。